問くらし安全課交通・防犯担当（☎594-5522）

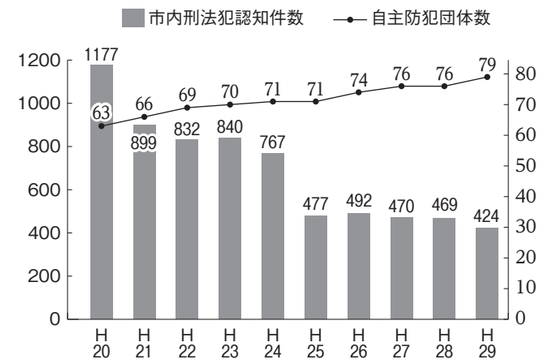
［ 特集２ ］

自分たちのまちは自分たちで守る!

市内刑法犯認知件数 10年間で約64%削減

北本市では、市内刑法犯認知件数が平成20年（1177件）と比較して、平成29年（424件）にはおよそ64%も削減されています。

犯罪の抑止は、警察や行政だけでできることではなく、地域の皆さんによる取組みや意識によって大きく左右されます。今回は、実際に犯罪件数の削減につながった、市民の皆さんの様々な防犯への取組みを紹介します。



知っていますか?

地域防犯推進委員

地域防犯推進委員は、各自治会長の推薦により、鴻巣警察署長および鴻巣地区防犯協会長から委嘱を受け、地域の安全活動に意欲的に取り組む人たちです。自治会の自主防犯団体等を中心となり、市や警察等の関係機関と連携して様々な防犯の取組みを行っています。

現在、北本市では263人の市民の皆さんが地域の防犯リーダーとして8地区に分かれて活躍しています。

活動1 地域住民への情報伝達

●犯罪、事故等の発生状況や被害防止の情報を把握
●研修会等で得た安全情報を地域住民にお知らせ

活動2 地域ぐるみの取組み

●市や警察等が行う防犯キャンペーン等への参加
●地域の状況に合わせた防犯教室、防犯パトロール、防犯診断等の実施

活動3 市、警察への通報

●空き家、公園等の状況などの実情を把握
●危険箇所や犯罪に結びつくような情報を市や警察等の関係機関に通報

日ごろから地域の環境変化や防犯に関する声に気を配っています!

地域のつながりを強く

Voice

鴻巣地区防犯協会北本支部長
地域防犯推進委員
中村公哉（きみや）さん

私は平成7年から推進委員として活動していますが、防犯活動は継続して行っていくことが大切であることを実感しています。活動する皆さんには、無理のない程度に参加していただき、地域交流も図れる場にしてもらいたいと思います。

地域のつながりを強くし、一体となって犯罪誘発の機会を取り除いていくことが犯罪抑止への近道です。

各地域の自主防犯団体の人たちは年々高齢化してきていますので、ぜひ若い人にもどんどん地域の防犯パトロールに参加してもらいたいです。

防犯活動に参加し、一緒に安全・安心な地域づくりをしていきましょう。

知っていますか?

自主防犯団体

自主防犯団体は、地域防犯推進委員を中心に、地域の住民が防犯パトロールや子どもの見守り活動などを協力して行う、自治会を母体とした団体です。

現在、北本市では79自治会で組織されており、日々地域の安全活動に取り組んでいます。犯罪を寄せ付けない地域づくりにとても大きな効果があります。

本町6丁目防犯パトロール隊

西高尾1丁目防犯パトロール隊

西高尾5丁目防犯パトロール隊

東間3丁目防犯パトロール隊

東間7丁目防犯パトロール隊

声のかけあいが大切

Voice

本町6丁目自治会防犯パトロール隊
北森修身（しゅうしん）さん

本町6丁目は、防犯パトロール隊を設立して13年になります。隊員は自主的に集まったボランティアで、地域の安全を守るため、月数回の防犯パトロールを行っています。

パトロールをしている途中、地域の人から声をかけてもらえる時にやりがいを感じます。地域住民同士が互いに声をかけあうことで防犯の役に立っていると思います。

地域の状況に合わせた防犯活動が効果的

Voice

鴻巣警察署 生活安全課長
安野三夫（やすおみつお）さん

北本市における街頭犯罪の被害件数は、10年前と比べ半数以上も減っており大きく改善されています。また、振り込め詐欺の被害件数は県内ワースト5位でしたが、現在は半分の順位まで改善されています。これは、それぞれの地域で自主防犯団体の皆さんが、地域の状況に合わせた防犯活動に積極的に取り組まれているおかげです。警察だけでは行き届かない場所をパトロールしていただき大変感謝しております。

北本市では、各地域の防犯パトロールが非常に高い効果をあげていますので、今後も引き続き防犯活動にご協力いただきますようお願いいたします。

犯罪情報を活用し、地域一体で対策していきましょう!

北本市

●広報きたもと「あんぜん情報」
●北本メール 「警戒情報」「不審者情報」

埼玉県警察

●「犯罪情報官NEWS」

鴻巣警察署 北本市 北本市自治会連合会

「北本市犯罪情報の住民提供等に関する協定」を締結しています。

住民の生命身体に危険が及ぶ恐れがあり、直ちに注意喚起を行う必要がある情報（殺人・強盗等のうち、連続発生するおそれのあるもの）を、防災行政無線により提供することなどを定めています。

平成28年3月締結